

1. 科目名 (単位数)	養護教育学 (2 単位)	3. 科目番号	EDHE2301
2. 授業担当教員	八重樫 節子		
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>児童生徒の健康課題が多様化する中、平成 20 年中央教育審議会答申における養護教諭に関する記述からは、その専門性に対する期待の大きさを読み取ることができる。養護教諭の職務は、学校教育法 37 条 12 項において「養護教諭は児童の養護をつかさどる」と記されており、他の教職員にはない独自の活動を理解し、これを展開することのできる力量を形成することは、養護教諭を目指す者にとって大変重要である。本講義では、養護教諭の歴史の変遷や、その固有の職務内容を概観することにより、「養護教諭の実践する養護とは何か」を、明らかにしていく。また、学校保健領域における養護教諭の具体的実践について学び、取り組みの基本的スタンスを身につける。</p>		
8. 学習目標	<p>① 養護教諭の歴史の変遷を理解し、学校教育に果たす養護教諭の役割について説明することができる。 ② 養護の概念を体得するとともに、養護教諭独自の活動の展開について、具体的に考えることができる。 ③ 子どもが主体の学校教育を基本として、効果的な保健教育活動のあり方について説明することができる。 ④ 保健室の機能と養護教諭の活動過程を理解し、これからの時代に必要とされる養護教諭の基本的スタンスを身につける。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>・授業毎に、講義内容についての感想、まとめに関する小レポートを出題する。 ・中間課題レポート：養護教諭の専門性を踏まえ、自らの「理想とする養護教諭像」について記述する。(800字程度・第8回目提出) ・最終課題レポート：「養護とは何か」について自らの考えを記述する。(800字程度・第15回提出)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】新訂版 学校保健実務必携 第5次改訂版 第一法規 2020。 編著 岡田加奈子・河田史宝 『養護教諭のための現代の教育ニーズに対応した養護学概論—理論と実践—』東山書房</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 養護教諭にかかわる歴史、役割、仕事内容などについて理解し、説明することができるようになったか。 2. 保健教育活動や保健室の機能を理解し、実際に保健室経営に取り組める力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 (発表、発言内容など) 総合点の30% 2 期末レポート (試験も含む) 総合点の40% 3 課題レポート (宿題、小レポート、中間レポート) 総合点の30% 上記のほかに、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では養護教諭の全般的な活動を概観し、その出発点となる「養護」の概念についての理解を深めていきます。講義を通して、他の教職員にはない養護教諭独自の専門性や、「養護」という視点からの教育活動あるいは支援活動のあり方を見出すとともに、受講生の皆さんが「自分だったらどうするか」ということを積極的に考える姿勢を重視していきます。時代背景とともに変遷してきた養護教諭の職務についても振り返りながら、現在あるいは未来の養護教諭像について、一緒に考えていきましょう。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 養護教育学で目指すもの、授業の目的を理解する。	事前学習	現段階での「養護」や「保健室」のイメージについて、自分なりの考えを持って講義に臨む。
		事後学習	授業の目的について理解したこと等、自分の考えをまとめる。
第2回	I 養護の概念と養護教諭 ①「養護」とは何か ・養護教諭の職務の法的位置づけ ・ヘルスプロモーションと養護教諭	事前学習	教科書 pp. 12～16 を熟読し、養護教諭の本質と概念について予習しておく。ヘルスプロモーションについて調べ (学校保健実務必携第5次改訂版 pp. 543～557 参照)、養護教諭の職務との関連性について、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	養護教諭の職務の法的位置づけやヘルスプロモーションの観点から、「養護とは何か」について自分の考えをまとめる。
第3回	②養護教諭の活動過程 ・養護の基本原則 ・養護の機能 ・基本的かかわり	事前学習	教科書 pp. 65～76 を熟読し、養護教諭の活動過程について予習しておく。
		事後学習	養護教諭の活動過程について、本時の講義を通して、感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめ。
第4回	③養護教諭の専門性 ・養護教諭の歴史の変遷 ・各種答申における養護教諭の役割	事前学習	教科書の養護教諭の歴史に関する事項 pp. 18～29 を熟読し、予習しておく。
		事後学習	養護教諭の専門性に関し、本時の講義を通して、感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第5回	④保健室経営方針と保健室の設営 ・養護教諭の職務の特質と保健室の機能 ・保健室経営計画の立て方 ・保健室レイアウトのポイント	事前学習	教科書 pp. 56～64 を熟読し、保健室や保健室経営の特徴について予習しておく。
		事後学習	保健室の機能をふまえ、自らの理想とする保健室のレイアウト案を考える。

第6回	Ⅱ 養護教諭の職務の実際 ① 保健管理 ・ 定期健康診断の進め方 実施および事後措置上の留意点	事前学習	教科書 pp. 153～162 を熟読し、健康診断の運営のあり方について予習しておく。
		事後学習	健康診断を行う際に養護教諭として留意すべき点について、自分の考えをまとめておく。
第7回	・ 救急処置の進め方 養護教諭の役割と救急処置の範囲 アセスメントや対応の留意点	事前学習	教科書 pp. 190～207 を熟読し、養護教諭の行う救急処置活動の基本事項について予習しておく。
		事後学習	学校救急処置において、養護教諭が果たすべき役割について自分の考えをまとめる。 (中間課題レポート) 第7回までの講義内容をふまえ、自らの「理想とする養護教諭像」についてレポートを作成する。
第8回	・ 健康相談、健康相談活動の進め方 心身の健康問題についての事例検討	事前学習	教科書の pp. 163～175 を熟読し、養護教諭の行う健康相談について予習しておく。
		事後学習	心身の健康に課題を持つ児童生徒への対応に関し、事例検討を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第9回	② 保健教育 ・ 養護教諭の行う個別の保健学習 法的位置づけ 個別の保健指導の実践事例	事前学習	教科書 pp. 163～184 を熟読し、養護教諭の行う保健指導の留意点について予習をする。
		事後学習	個別の保健指導を進める際の留意点に関し、本時の講義を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第10回	・ 集団を対象とした保健教育(教科・特別活動等) 教育課程内での位置づけ 養護教諭が授業を行うメリット・デメリット	事前学習	教科書 pp. 176～184 を熟読し、養護教諭の行う健康教育の留意点について予習しておく。
		事後学習	養護教諭が教室に向いて授業を実践することのメリット・デメリットについて、感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第11回	③ 保健組織活動 ・ 各種委員会活動における養護教諭の役割	事前学習	教科書 pp. 77～85 を熟読し、保健組織活動について予習しておく。
		事後学習	保健組織活動に関し、本時の講義を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第12回	Ⅲ 児童生徒の健康課題と養護活動の展開 ① 感染症の予防と集団の健康管理 ・ インフルエンザ・ノロウイルス等	事前学習	教科書 pp. 233～243 を熟読し、学校における感染症予防について、予習しておく。
		事後学習	感染症の予防や拡大防止において養護教諭が果たすべき役割に関し、本時の講義を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。 (学校保健安全法必携 pp. 447～473 感染症参照)
第13回	② 慢性疾患を持つ児童生徒への対応 ・ 心臓疾患・糖尿病、アレルギー疾患等	事前学習	教科書の pp. 200～207 を熟読し、慢性疾患を持つ子どもへの養護に関する事項について、予習しておく。
		事後学習	慢性疾患を持つ児童生徒への支援に関し、本時の講義を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第14回	③ 心の健康問題を持つ児童生徒への対応 ・ 保健室登校・保健室頻回来室・不登校等	事前学習	教科書の pp. 207～231 を熟読し、心の問題を抱えた子どもへの養護について、予習しておく。
		事後学習	心の健康に課題を持つ児童生徒への支援に関し、本時の講義を通して感じたことやわかったことについて、自分の考えをまとめる。
第15回	まとめ:「養護」とは何か ・ 最終課題レポートに記載した内容に基づいて、グループディスカッションを行う。 ・ 受講者各自が習得した「養護」についての概念を共有し、養護教諭の職務のあり方に総括する。	事前学習	(最終課題レポート) 本講義の内容をふまえ、「養護とは何か」についてレポートを作成する。
		事後学習	グループディスカッションを通して新たに得た考え方を踏まえて、全講義内容の振り返りをおこなう。
期末試験			